

ガス給湯器 取扱説明書

保証書付

(商業用/業務用専用)

型番	型式名
633-1012型	GS-S5000GW
633-1003型	GS-S3200GW

マルチコントローラ

型番	型式名
638-1022型	MC-08



写真は633-1012型

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番・製造年月をお知らせください。

もくじ

ページ

安全に正しくお使いいただくために	1
この取扱説明書の表示について	1
機器本体の表示について	1
必ずお守りください	1
各部の名称とはたらき	6
機器本体	6
システム例	6
機器本体	7
システム例	7
マルチコントローラ	8
メインリモコン	8
サブリモコン	9
防湿形サブリモコン	9
ご利用前の準備	10
機器の準備	10
現在時刻を合わせる	10

お湯を使うには	11
リモコンなしでお湯を使用する	11
リモコンでお湯を使用する	11
給湯温度の目安	12
優先切替について	12
プログラム運転を使う	13
プログラム時刻の設定	13
プログラム運転をする	14
プログラム運転の解除	14
ロック機能	15
ロック機能の設定と解除	15
メインリモコンのその他の機能	16
ブザーの音量を変更する	16
省電力機能について	16

冬の凍結予防をするには	17
凍結予防装置による方法	17
給湯栓の水を流す方法	17
機器の水を抜く方法	18
再使用するとき	19
凍結したときは	20
点検のポイント・お手入れのしかた	21
点検のポイント	21
定期点検のおすすめ(有料)	21
お手入れのしかた	21
給水口フィルターの掃除	22
点検・お手入れ後の確認	22
故障かな?と思ったら	23
こんなときは故障ではありません	24
アラーム表示について	25
アフターサービスについて	26
仕様一覧	27
保証書	裏表紙

お使いいただく前に

使い方

長くお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX) 参照ページを示しています。

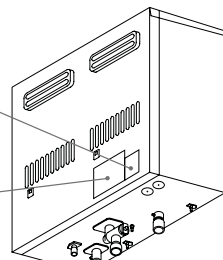
■機器本体の表示について

銘板

型番・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造業者等を表示しています。

使用上の注意

使用上の注意について表示しています。



(図は633-1012型を示します)

必ずお守りください

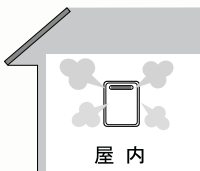
⚠危険

屋内に設置しない

●燃焼ガスが室内に充滿したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止



ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
- ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。



全ての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し火災のおそれがあります。



必ず行う



火気禁止

必ずお守りください

⚠警告

機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。やけどのおそれがあります。



禁止



給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

●不完全燃焼や火災のおそれがあります。



禁止

ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。



必ず行う

機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

改造・分解禁止

●絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は事故や火災・故障の原因となります。



分解禁止

お子様には十分な注意を

●浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。



禁止



機器本体でのやけどに注意

●使用中または使用後しばらくは、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。



接触禁止



機器の銘板を確認

●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。

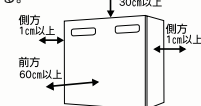
●転居時の注意は(→P.26)



(図は633-1012型を示します)

火災予防のために必ず守ること

●機器周辺のものは常に図の離隔距離を確保する。



●機器および排気口の周囲には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。機器の周囲では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。



禁止

●機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。

給湯・シャワー使用時の注意

●シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。

- ・お湯を再使用するとき
- ・給水圧が下がったとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・機器が故障したとき

●給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。

●シャワー・給湯使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。

思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



高温注意



必ず行う



禁止

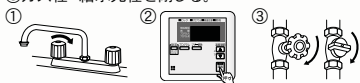
必ずお守りください

警告

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合、以下の手順に従う。

- ①給湯栓を閉じる。
- ②運転スイッチを「切」にする。
- ③ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合

- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P.23～25)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 濡れた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



注意

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。

ソーラーシステムと接続する場合

- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度よりも高くなることがありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。

水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。



アース確認せよ

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になる。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず行う

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。



禁止

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超えたり、たこ足配線などで定格を超える使い方をしない。発熱による火災の原因となります。



禁止

ドレン排水口から排出される水について

- ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。



禁止

用途についての注意

- 台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。



禁止

掛け台カバーについての注意

- 掛け台カバーを外した場合は、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。(→P.22)



必ず行う

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じる。



必ず行う

必ずお守りください

お願い

断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(例えば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。



電源プラグを抜かない

- お手入れや長期間使用しない場合、および水抜きを行うときや雷が発生しているとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



感電に注意



接触禁止



感電注意

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬の凍結予防をするには」(→P.17)に従って処置してください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。凍結したときは「凍結したときは」(→P.20)に従って処置をしてください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプで確認してください。

リモコンの扱いについて

- 防湿形サプリコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。メイン・サプリコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいたらずらしないよう注意してください。



停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。



必ず行う

- 再通電したときは、リモコンの設定や表示を確認したあとご使用ください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。(冬の凍結予防を除く)

必ずお守りください

お願い

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.21)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万ー着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等でふき取ってください。
- ドレン排出配管の先からスムーズにドレン水が排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉そくされている場合は掃除を行ってください。

長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P.18)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い

設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音、燃焼ファン)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴があくなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、ドレン排出配管は除きます)

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。



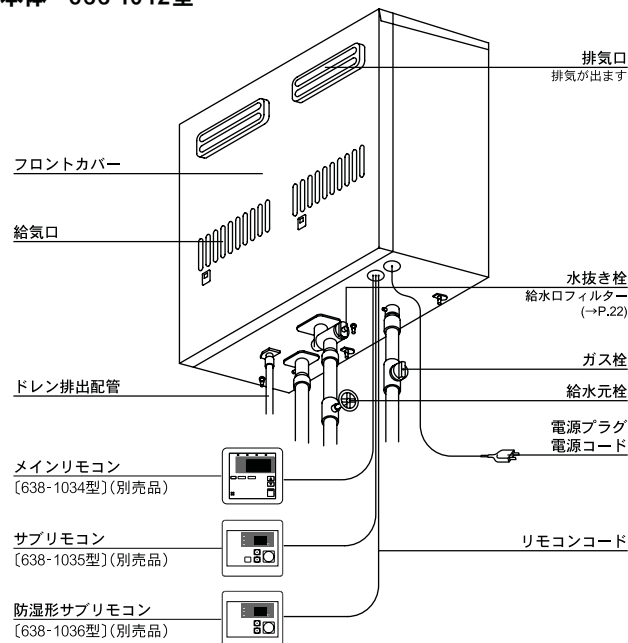
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペット・可燃物など)を置かないでください。
- この機器は熱効率がいため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

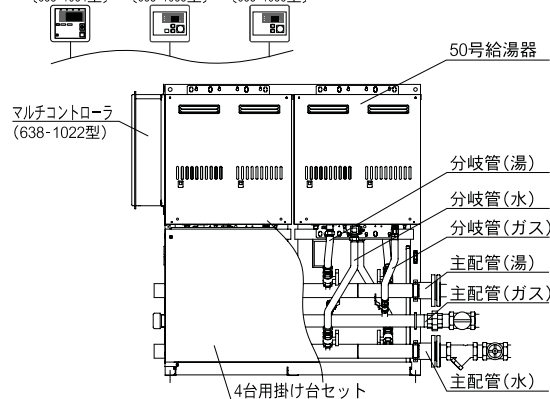
各部の名称とはたらき

■機器本体 633-1012型



■システム例 (複数台設置)

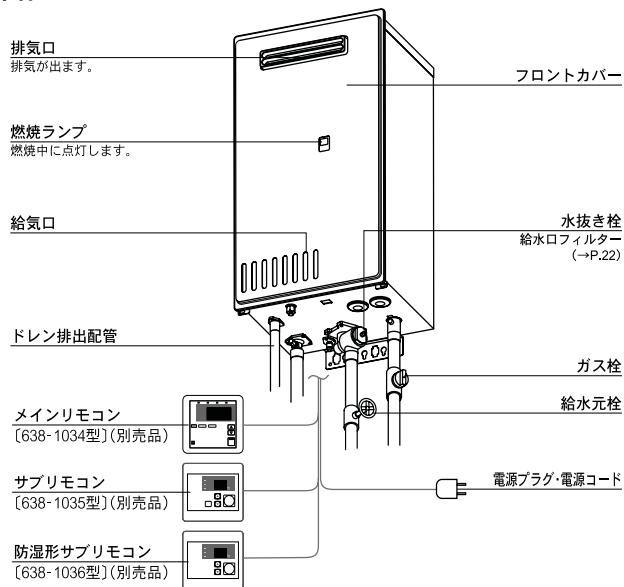
メインリモコン [638-1034型] (別売品) サブリモコン [638-1035型] (別売品) 防湿形サブリモコン [638-1036型] (別売品)



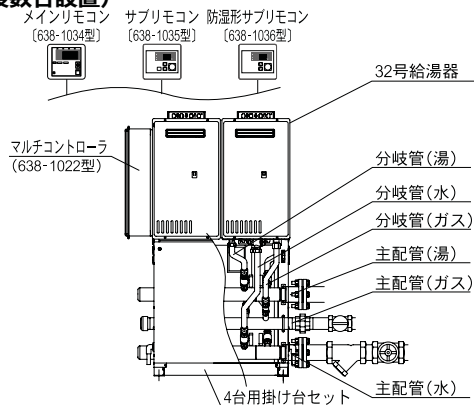
お使いいただく前に

各部の名称とはたらき

■機器本体 633-1003型

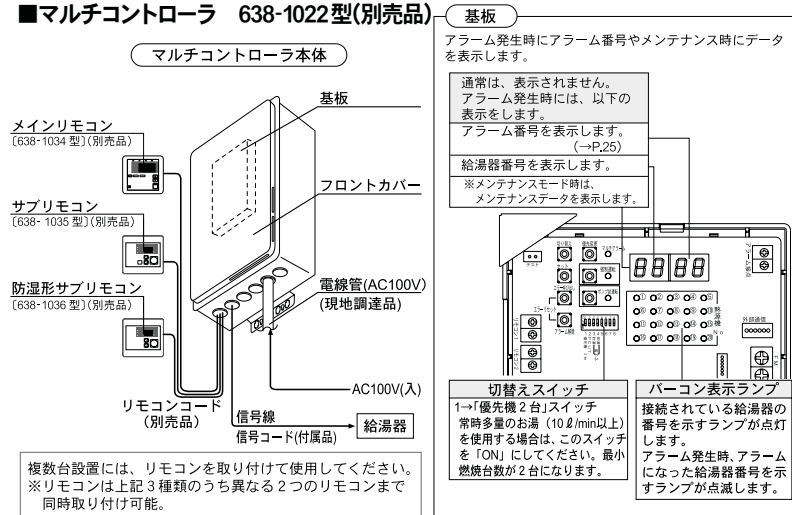


■システム例 (複数台設置)



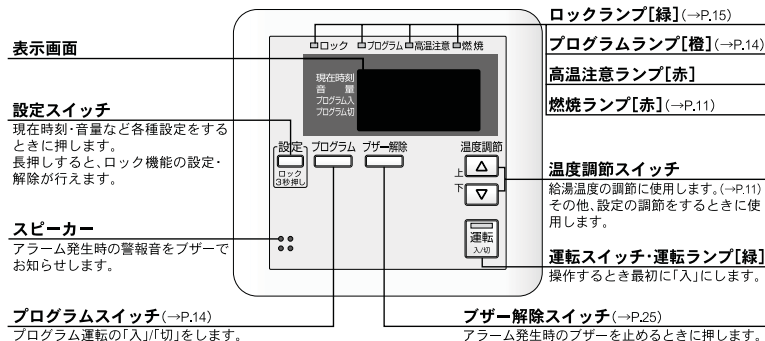
各部の名称とはたらき

■マルチコントローラ 638-1022型(別売品)



■メインリモコン 638-1034型(別売品)

給湯温度の調節やプログラム運転などの操作ができます。



各部の名称とはたらき

□メインリモコン表示画面

※図の画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

現在時刻表示(→P.10)

現在時刻を表示します。

音量表示(→P.16)

ブザーの音量設定時に1桁で音量を表示します。

プログラム時刻表示(→P.13)

プログラム運転設定時にプログラム「入」「切」時刻を表示します。



アラーム表示(→P.25)

機器に不具合が生じたとき、3桁でアラームを表示します。

給湯温度表示(→P.11)

給湯温度を℃で表示します。

優先表示(→P.12)

本体操作部が優先のとき表示します。

■サブリモコン 638-1035 型(別売品)

給湯温度の調節やアラーム発生時のブザーの停止ができます。

優先ランプ[緑](→P.12)

燃焼ランプ[赤](→P.11)

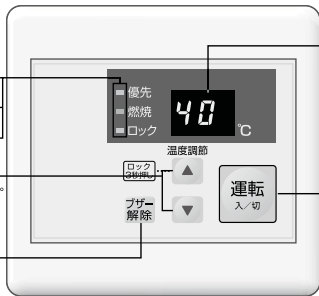
ロックランプ[緑](→P.15)

温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
▲を長押しすると、ロック機能の設定・解除が行えます。

ブザー解除スイッチ(→P.25)

アラーム発生時のブザーを止めるときに押します。
また、3秒以上長押しするとブザーを鳴らなくする設定もできます。



給湯温度表示(→P.11)

運転スイッチ「入」のとき、給湯温度を表示します。

アラーム表示(→P.25)

機器に不具合が生じたとき、2桁でアラームを表示します。

運転スイッチ

操作するとき最初に押して「入」にします。

■防湿形サブリモコン 638-1036 型(別売品)

給湯温度の調節や優先の切り替えができます。防湿タイプなので、浴室や水回りなどに設置することができます。

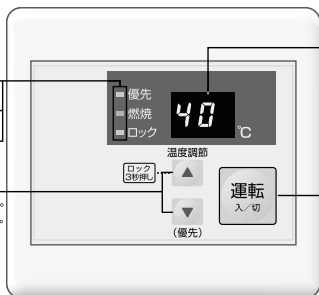
優先ランプ[緑](→P.12)

燃焼ランプ[赤](→P.11)

ロックランプ[緑](→P.15)

温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
▼を押すと優先の切り替えができます。
▲を長押しすると、ロック機能の設定・解除が行えます。



給湯温度表示(→P.11)

運転スイッチ「入」のとき、給湯温度を表示します。

アラーム表示(→P.25)

機器に不具合が生じたとき、2桁でアラームを表示します。

運転スイッチ

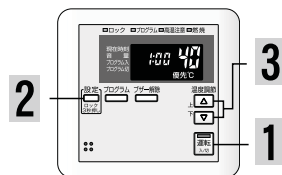
操作するとき最初に押して「入」にします。

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

■機器の準備

- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行います
点検のポイント(→P.21)をご覧ください。
- 2 給水元栓を全開にします
機器の下部にあります。
- 3 給湯栓を開けます
水が出ることを確認したら閉じます。
- 4 ガス栓を全開にします
機器の下部にあります。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます
機器周辺にあります。



■現在時刻を合わせる

メインリモコンの現在時刻を合わせます。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転スイッチを押して「入」にします		
2 現在時刻の右に◀が表示するまで設定を押します		現在時刻が点滅します。
3 上▲または下▼を押して現在時刻を設定します		※現在時刻点滅中に電源を押すと、音量の設定に移ります。(→P.16)
現在時刻設定後、しばらく押し操作がないと確定します		



●現在時刻は24時間制(例:午後1:00→13:00)で表示されます。

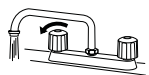
●出荷時の時刻表示は「1:00」になっています。停電または電源プラグを抜いた状態が30分以上続いた場合には、出荷時の表示に戻りますので、通電後時刻の再設定を行ってください。

お湯を使うには

■リモコンなしでお湯を使用する

給湯栓を開ければお湯が出ます。お湯の温度は約60℃定温（工場出荷時）になりますので、必ず混合水栓をお使いください。

1 給湯栓を開けてお湯を出します



2 水を混ぜて温度を調節します 使い終わったら給湯栓・給水栓を閉じてお湯を止めます



警告

●給湯・シャワーを使うときは、手で温度を確かめてから使う。急るとやけどのおそれがあります。



- マルチ設置時・簡易マルチ設置時は、リモコンなしで使用することはできません。
- 混合水栓にはサーモスタット付き、シングルレバータイプ、止水機能付きなどさまざまな種類があります。やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- この機器は約60℃定温出湯の他に約45℃・約70℃・約80℃の定温出湯が可能です。設定温度を変更する場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

リモコンの運転スイッチを「入」にして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

■リモコンでお湯を使用する

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転ランプの点灯を確認します 給湯温度を確認します		運転ランプが点灯していないときは、 入 を押します。 サブリモコン・防湿形サブリモコンの場合は、給湯温度が表示していないときは、 入 を押します。
2 給湯温度を変更する場合は優先の点灯を確認して 上 または 下 を押します		温度変更ができない場合は優先の表示(サブリモコン・防湿形サブリモコンの場合は優先ランプの点灯)を確認します。(→P.12)
3 給湯栓を開けます		リモコンの燃焼ランプが点灯します。
4 給湯栓を閉じます		燃焼ランプが消灯します。 ※他の給湯栓が使用中のときは消えません。

警告 ●給湯・シャワーを使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

●ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 使い始めは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 水温が30℃近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なくと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を増やすか、水と混合してお使いください。
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。

お湯を使うには

■給湯温度の目安

給湯温度は、標準設定または高温設定のどちらかに設定できます。設定は、設置工事時に行いますので、給湯温度設定の内容は施工業者に確認してください。

ご使用の目安	工場出荷時標準 40、高温 60 (単位:℃)															
標準設定	32	35	37	38	39	40	41	42	43	45	47	50	55	60	70	75
高温設定	—										60					
使用用途	食器洗いなど					シャワー・給湯など					高 温					

※夏期など水温が高い場合、低温に設定しても設定温度より高い湯温となることがあります。

機器の取替等で従来のリモコンをそのまま使用する場合や即湯ユニット(QB-3)を接続し、リモコンの温度設定を「設定1」にしてある場合は、以下の設定温度となります。

ご使用の目安	工場出荷時 42 (単位:℃)															
標準設定	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60	70	75
高温設定	37	38	39	40	41	42	43	44	45	—	—	50	55	60	65	70
使用用途	食器洗いなど					シャワー・給湯など					高 温					

□高温注意ランプについて

給湯温度を50℃以上に設定すると、メインリモコンの高温注意ランプが点灯します。

□ロック □プログラム □高温注意 □燃焼



- 給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶しています。また、一度通電が止まって再通電した場合でも、設定した給湯温度を表示します。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

■優先切替について

給湯温度の調節を可能にするには**優先**もしくは**優先ランプ**の点灯が必要です。この**優先**もしくは**優先ランプ**の点灯を切り替えることを「優先切替」といいます。

給湯温度を調節できない場合	優先切り替えを行う(調整可能)		給湯温度を調節できる状態
メインリモコン 優先が表示されていない		運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする ※サブリモコン(638-1035 型)も同様の方法で優先を切り替えることができます。	優先表示あり
防湿形サブリモコン 優先ランプが点灯していない		温度調節 温度調節 下 を押します (優先)	優先ランプ点灯

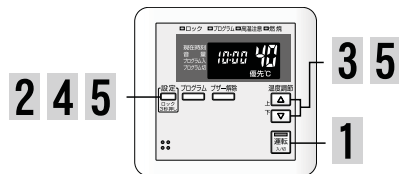
警告 ●給湯・シャワーの使用中に優先を切り替ええない。お湯の温度が急変して、やけどのおそれがあります。

●ご注意ください

- 優先を切り替えるときには、他の場所で使われていないことを確認してから切り替えてください。
- 別売のサブリモコン(638-1035型)を設置している場合
 - ・メインリモコンが優先のときは、サブリモコンも優先になります。
 - ・サブリモコンとメインリモコンは連動しています。サブリモコンの**運転**スイッチを「入」にする、サブリモコンの**優先**ランプとメインリモコンの**優先**が表示され、サブリモコンでも給湯温度の変更ができます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

プログラム運転を使う

プログラム運転は、毎日決まった時刻に自動で運転の「入」「切」をします。



■プログラム時刻の設定

操 作	操作後の画面	説 明
1 を押して「入」にします		
2 プログラム入の右側に<が表示するまで を押します		プログラム入時刻が点滅します。
3 または を押して、プログラム入時刻を設定します	 【例】午前8:00に設定	
4 プログラム切の右側に<が表示するまで を押します		プログラム切時刻が点滅します。
5 または を押して、プログラム切時刻を設定します 設定 を押す、もしくはしばらく押し操作がないと確定します	 【例】午後10:00に設定 	

- 設定したプログラム時刻は次回変更するまで記憶されますので毎回設定する必要はありません。
 ●プログラム時刻の設定は運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定ができます。

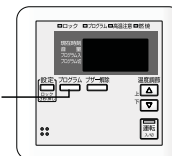
プログラム運転を使う

■プログラム運転をする

プログラム運転を行うときは、以下のことを確認してください。

- 現在時刻が合っているかを確認。(→P.10)
 - プログラム運転の設定時刻を確認。
- ※プログラム時刻の変更はプログラム時刻の設定(→P.13)をご覧ください。

1



操 作	操作後の画面	説 明
1 プログラム を押します 設定したプログラム時刻になると自動的に運転の「入」「切」を行います	 【プログラム運転「入」】 プログラム「入」時刻になると運転「入」になります 【プログラム運転「切」】 プログラム「切」時刻になると運転「切」になります	プログラムランプが点灯します。 ※プログラムランプを点灯した状態にしておけば、毎日同じ時刻に運転の「入」「切」を行います。 メインリモコンでは運転ランプと画面を表示します。 サプリリモコン・防湿形サプリリモコンでは給湯温度を表示します。 メインリモコンでは運転ランプと画面が消えます。 サプリリモコン・防湿形サプリリモコンでは給湯温度が消えます。

- 停電または電源プラグを抜いた状態が30分以上続いた場合には、プログラム運転が解除されます。再度 を押して設定し直してください。

プログラム運転「入」中に運転を停止したいときは

を押します。運転ランプが消灯し、運転を停止します。
 プログラム運転の解除にはなりませんので、プログラム運転「入」中にもう一度 を押すとプログラム運転「入」の状態に戻ります。

■プログラム運転の解除

操 作	操作後の画面	説 明
1 プログラム を押します		プログラムランプが消灯します。

- プログラム運転「入」中に を押すと、プログラムランプが消えプログラム運転の解除となりますが、運転ランプは点灯したままで運転スイッチ「切」にはなりません。

ロック機能



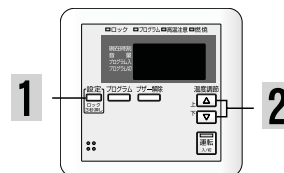
■ロック機能の設定と解除

ロック機能の設定/解除は各リモコンで個別に行います。
操作の方法は運転スイッチ「切」の状態の説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
設定 【メインリモコン】 設定 を“ビピッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます 【浴室・サブリモコン】 を“ビピッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます	 ■ロック	ロックランプが点灯します。 ※ロック中はロック機能の解除以外のリモコン操作はできません。
解除 【メインリモコン】 設定 を“ボポッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます 【浴室・サブリモコン】 を“ボポッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます	 ■優先 ■燃焼 ■ロック	ロックランプが点灯します。 ※ロック中はロック機能の解除以外のリモコン操作はできません。
解除 【メインリモコン】 設定 を“ボポッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます 【浴室・サブリモコン】 を“ボポッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます	 ■優先 ■燃焼 ■ロック	ロックランプが点灯します。 ※ロック中はロック機能の解除以外のリモコン操作はできません。

- ロック機能の設定/解除は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。
 ●省電力機能(→P.16)で画面が消えているときに設定スイッチを3秒以上押し続けても、ロック機能の設定/解除は行えません。画面を表示した後、再度設定スイッチを3秒以上押し続けてください。

メインリモコンのその他の機能



■ブザーの音量を変更する

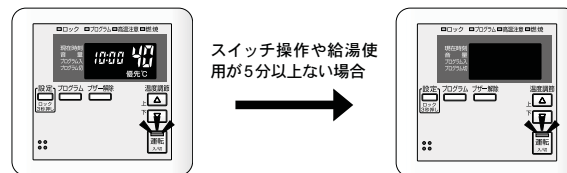
メインリモコンではアラーム表示時のブザー音の音量を変更することができます。操作の方法は運転スイッチ「切」の状態の説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 音量の右に<が表示するまで を押します	 現在時刻 音 量 プログラム入 プログラム切	音量が点滅します。 サンプル音が流れますので、好みの音量に設定してください。
2 上 または下 を押して、音量を設定します 設定後、しばらく押し操作がないと確定します 音量の目安 0(無音) 1(小) 2(中) 3(大) ③ 大 工場出荷時	 現在時刻 音 量 プログラム入 プログラム切	

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
 ●音量の変更は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。
 ●音量を無音に設定するとブザー音は流れません。
 ●スイッチやボタン操作時の音、警告音“ビビビビ”の音は調整できません。
 また、サブリモコンのブザー音の音量は調整できません。

■省電力機能について

5分以上スイッチ操作や給湯を使用しないときに、メインリモコンの画面表示を消して電力の節約をします。



❗ご注意ください

- 省電力機能で画面が消えている時にリモコンのスイッチを押すと、画面を表示します。
 このとき、押されたりリモコンのスイッチの動作は、行われません。

- 省電力機能を解除することはできません。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。



- 暖かい地域でも、機器や配管の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温-15℃程度まで)

機器の電源プラグは、抜かないでください

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると、凍結予防装置がはたらきません。




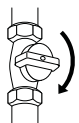
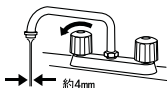
- 凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 給水・給湯配管は凍結する場合があります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど地域に応じて処置をしてください。

※機器本体およびマルチコントローラの循環ポンプ用端子を使用し循環回路を組んでいる場合は、気温が下がってくると自動的に循環ポンプが運転し、循環回路内を凍結予防します

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

操 作	説 明
1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします 	必ず行います。
2 ガス栓を閉じます 	
3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます 	流量が不安定なことがあるので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。

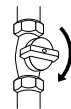
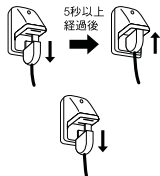
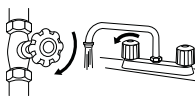
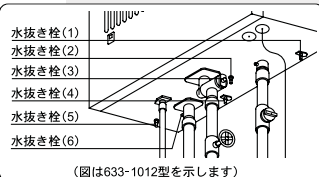
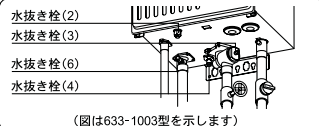


- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.4)
- シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬期の凍結予防をするには

■機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

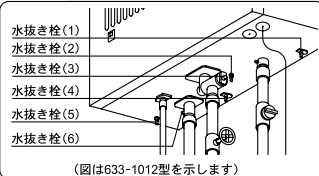
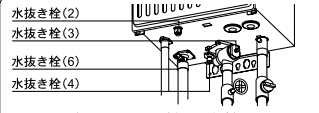
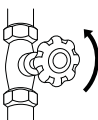
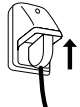
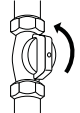
操 作	説 明
1 ガス栓を閉じます 	ガス栓は機器の下部にあります。
2 電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上経過後、電源プラグをコンセントに差し込みます 15秒経過後、再び電源プラグを抜きます 	
3 給水元栓を閉じます すべての給湯栓を全開にします 	給水元栓は機器の下部にあります。
4 水抜き栓(1)(2)(3)(4)(5)(6)を外します 633-1003型には(1)(5)はありません  <p>(図は633-1012型を示します)</p>  <p>(図は633-1003型を示します)</p>	
5 完全に排水したことを確認後、すべての水抜き栓を元のとおりに取り付けます	

お願い ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。


操 作	説 明
1 水抜き栓(1)～(6)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します 633-1003型には(1)(5)はありません	 <p>水抜き栓(1) 水抜き栓(2) 水抜き栓(3) 水抜き栓(4) 水抜き栓(5) 水抜き栓(6)</p> <p>(図は633-1012型を示します)</p>  <p>水抜き栓(2) 水抜き栓(3) 水抜き栓(6) 水抜き栓(4)</p> <p>(図は633-1003型を示します)</p>
2 給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します	 <p>給水元栓は機器の下部にあります。</p> <p>水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。</p>
3 電源プラグを差し込みます	 <p>コンセントは機器の周辺にあります。</p>
4 ガス栓を開けます	 <p>ガス栓は機器の下部にあります。</p>
5 メインリモコンの現在時刻を設定します(→P.10)	

お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元のとおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

冬期の凍結予防をするには

■凍結したときは

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操 作	説 明
1 ガス栓を閉じます	 <p>機器の下部にあります。</p>
2 給水元栓を閉じます	 <p>機器の下部にあります。</p> <p>※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。</p>
3 運転入/出を押してリモコンを「切」にします	
4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます	<p>給水元栓は、機器の下部にあります。</p>
5 給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます	
6 運転入/出を押してリモコンを「入」にします	

お願い ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント(月1回程度)

次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえますか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？



また、整然とされていますか？

機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然していると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

- 6 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口がふさがれていませんか？
給気口・排気口がふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときは買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■定期点検のおすすめ(有料)

- 業務用機器は家庭用の一般機器と異なり、使用頻度も高くなるため、機器を安心してより長くご使用いただくために、機器の定期的な点検診断を行う、保守点検契約をされることをおすすめします。
保守点検契約については買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

❗ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- メインリモコン・サブリモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、防湿形サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

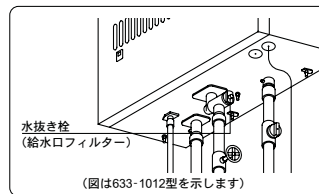
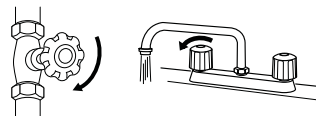
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどではふかないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■給水口フィルターの掃除

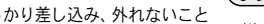
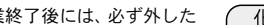
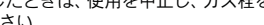
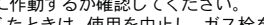
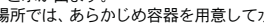
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に新築などの場合)

1 給水元栓を閉じ、給湯栓を開けます

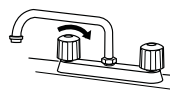


(図は633-1012型を示します)

2 給水接続口にある水抜き栓を外します



4 水抜き栓を元のように取り付け、給湯栓を閉じます



- 給水口フィルターを外すと水が出ます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

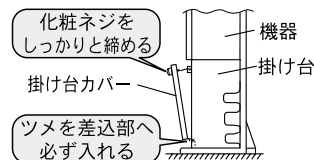
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。
万一、異常な燃焼・臭気・音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じて買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

掛け台カバーについて

掛け台カバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



長くお使いいただくために

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき

ここを調べてください

リモコンの画面に
表示が出ない

省電力機能中ではありませんか (→P.16)
電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.10)
停電していませんか (→P.4)

リモコンのスイッチを押しても
操作できない

ロックランプが点灯していませんか (→P.15)

燃焼ランプが点灯しない
お湯が出ない
運転しない

電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.10)
マルチコントローラの電源が入っていますか
(マルチコントローラを使用している場合)
停電していませんか (→P.4)
ガス栓が全開になっていますか (→P.10)
給水元栓が全開になっていますか (→P.10)
断水していませんか (→P.4)
給湯栓が十分開いていますか (→P.11)
給水口フィルターが詰まっていますか (→P.22)
凍結していませんか (→P.20)
ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか
LP ガスの場合、ガスがなくなっていますか
上記を確認後 (リセット操作)

燃焼ランプが点滅した

ガス栓が全開になっていますか (→P.10)
給水元栓が全開になっていますか (→P.10)
給水口フィルターが詰まっていますか (→P.22)
上記を確認後 (リセット操作)

高温のお湯が出ない

温度調節は適切ですか (→P.11)
ガス栓が全開になっていますか (→P.10)
シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を最高温に設定してください

低温のお湯が出ない

温度調節は適切ですか (→P.11)
給湯栓が十分開いていますか (→P.11)
給水口フィルターが詰まっていますか
給水元栓が全開になっていますか

運転中に機械から異常音が
聞こえる

点検依頼をしてください

リセット操作 [リモコンを取り付けていない場合]
電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上経過してから再度電源プラグをコンセントに差し込みます。

[リモコンを取り付けている場合]

運転 運転 または を一度「切」にし、5秒以上経過してから 運転 または を「入」にする。

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

故障かな？と思ったら

■こんなときは故障ではありません

現象

点検項目

給湯栓を絞りにすぎて水になった

この機器は通水量が約3.0ℓ/分以下になったときには、消火します。

夏期水温が高いとき低温のお湯
が出ない

夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。

冬期水温が低いとき高温のお湯
が出ない

冬期など、水温が低いときに高温のお湯を得ようとすると、出湯量を少なめに使用してください。出湯量を多くすると熱いお湯が出ない場合があります。

給湯栓を開けてもすぐにお湯
が出てこない

機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。

給湯使用中にお湯の量に変化
する

お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したりすると、お湯の量が減る場合があります。

給湯栓を開けたときお湯の量
が変動する

湯温を安定させるために、自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。

お湯が白く濁って見える

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。

給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする

お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。

出湯停止後しばらく燃焼ファンの
回転音がする

再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。

給湯栓を閉じると、水抜き栓から
一瞬水が漏れる

水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給水側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために水が出る場合があります。

お湯を使っていないのに時々
給湯器が燃焼する
循環ポンプが止まったり動いたりする

システム(複数台設置)で循環回路を組んだ場合、循環回路内のお湯の保温のため、実際にお湯を使わなくても給湯器が燃焼することがあります。また、循環パターンにより、循環ポンプがON-OFFします。外気温が低く、機器内の凍結予防装置がはたらくと、循環ポンプがONになります。

寒い日排気口から白い湯気が
出る

外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。この機器は、熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。

ドレン排出配管から頻繁に排水
する

この機器は高効率機器のため、二次熱交換器で発生した結露水を、ドレン排出配管から排水します。(最大200cc/分程度)

時計表示が合っていない

停電や電源プラグをコンセントから抜いた状態が30分以上続いた場合の再通電時には、時刻表示が「1:00」の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。(→P.10)

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

長くお使いいただくために

故障かな？と思ったら

■アラーム表示について

- 機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてアラーム番号の点滅表示とブザー（防湿形サブリモコンはブザーが鳴りません）でお知らせし、自動的に運転を停止します。
- ブザーはメインリモコンの **リセット** またはサブリモコンの **リセット** を押して解除します。（アラーム番号の点滅表示は解除されません）
- アラーム番号が表示点滅したときは不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

アラーム番号	原因	処置
111	点 火 不 良	<p>ガス栓が全開であることを確認後（リセット操作）</p> <p>↓</p> <p>それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼する</p>
121	失 火	
311	出湯温サーミスタ断線・短絡	
321	入水温サーミスタ断線・短絡	
331	混合温サーミスタ断線・短絡	
441	流量センサ故障	
510	元ガス電磁弁故障	
511	ガス電磁弁故障	
611	ファン回転異常	
631	外部循環ポンプ故障	
651	水量制御弁故障	<p>修理を依頼する</p>
661	パイパス弁故障	
701	制御基板異常	
711	ガス電磁弁駆動回路故障	
721	擬似炎検出	
031	温調選択ミス	<p>修理を依頼する</p>
101	給湯異常警告	
291	中和器詰まり	
391	フレームロッド断線	
741	メインリモコン通信異常	
751	浴室・サブリモコン通信異常	
761	熱源機通信異常	
921	中和器交換警告（使用可能）	
931	中和器交換警告（使用不可）	
991	燃焼異常装置作動	

中和器交換警告目安
 [633-1012型 連続最大出力時 3,000時間（中和器2個搭載）]
 [633-1003型 連続最大出力時 1,600時間]
 入水温度或使用条件によって異なります。

リセット操作 **リセット** または **リセット** を一度「切」にし、5秒以上経過してから **リセット** または **リセット** を「入」にする。

【メインリモコン】

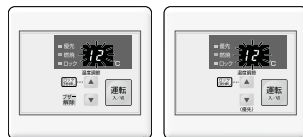
アラーム番号の点滅表示とブザーが鳴ります。
 ブザーは **リセット** を押して解除します。



【メインリモコン】

【防湿形サブリモコン・サブリモコン】

簡易表示のため、アラーム番号の上位2桁を点滅表示します。
 また、サブリモコンではブザーが鳴ります。
 ブザーは **リセット** を押して解除します。



【サブリモコン】

【防湿形サブリモコン】

！ご注意ください

- アラーム番号“921”“931”が表示されたときは、中和器の交換が必要のため、修理を依頼してください。
- アラーム番号“921”では機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅中はリモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。
- アラーム番号“931”では機器の使用はできません。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな？と思ったら」（→P.23～25）をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印等）
 - (2) 型番：(例) 633-1012型
 ガスの種類：(例) 13A
 ※銘板をご覧ください。（→P.2）
 - (3) 現象（故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく）
 - (4) 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。（→P.18）
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	目	内容
型番		633-1012型
型式名		GS-S5000GW
外形寸法 (mm)/質量 (kg)		幅630×奥行300×高さ64255
種給湯方式		先止め式
類設置方式		屋外壁掛形
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
点水使用水压		100 ~ 500kPa (1.0 ~ 5.0kgf/cm ²)
水圧最低作動水压		10kPa (0.1kgf/cm ²)
ガス給湯		20A (R3/4) オネジ
給湯		25A (R1) オネジ
給湯		25A (R1) オネジ
ドレン排出口		15A (R1/2) オネジ
電源		AC100V (50/60Hz)
電気関係	リモコン側	DC24V以下
	待機時	13W (メインリモコン取付時)
	消費電力	122W
	凍結予防時	312W
	電源コード	VCT (2心) 機外長2.0m
安全装置		ファン回転検出装置 (燃焼ファン) 漏電安全装置 (漏電スイッチ) 凍結予防装置 (凍結予防ヒータ) 立消え安全装置 (フレイムロッド方式) 過圧防止安全装置 (スプリング式) 誘導雷保護装置 (サージアブソーバ) 空だき防止装置 (水量センサー) 空だき安全装置 (バイメタル式) 過熱防止装置 (温度ヒューズ)

〔能力表〕

使用ガス	1時間あたりのガス消費量	出湯能力 (最大時) (ℓ/分)		ガス接続
使用ガスグループ	kW {kcal/h}	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	94.2kW {81,000kcal/h}	50.0	31.3	20A (R3/4)
L P ガス	94.2kW {6,73kg/h}	50.0	31.3	

◎ガス：J I S に規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水温200kPa (20kg f /cm²) のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	目	内容
型番		633-1003型
型式名		GS-S3200GW
外形寸法 (mm)/質量 (kg)		幅334×奥行300×高さ59230
種給湯方式		先止め式
類設置方式		屋外壁掛形
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
点水使用水压		200 ~ 500kPa (2.0 ~ 5.0kgf/cm ²)
水圧最低作動水压		10kPa (0.1kgf/cm ²)
ガス給湯		20A (R3/4) オネジ
給湯		20A (R3/4) オネジ
給湯		20A (R3/4) オネジ
ドレン排出口		15A (R1/2) オネジ
電源		AC100V (50/60Hz)
電気関係	リモコン側	DC24V以下
	待機時	5W (メインリモコン取付時)
	消費電力	77W
	凍結予防時	160W
	電源コード	VCT (2心) 機外長2.0m
安全装置		ファン回転検出装置 (燃焼ファン) 漏電安全装置 (漏電スイッチ) 凍結予防装置 (凍結予防ヒータ) 立消え安全装置 (フレイムロッド方式) 過圧防止安全装置 (スプリング式) 誘導雷保護装置 (サージアブソーバ) 空だき防止装置 (水量センサー) 空だき安全装置 (バイメタル式) 過熱防止装置 (温度ヒューズ)

〔能力表〕

使用ガス	1時間あたりのガス消費量	出湯能力 (最大時) (ℓ/分)		ガス接続
使用ガスグループ	kW {kcal/h}	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	59.9kW {51,500kcal/h}	32.0	20.0	20A (R3/4)
L P ガス	59.9kW {4,28kg/h}	32.0	20.0	

◎ガス：J I S に規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水温200kPa (20kg f /cm²) のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために

仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容
型	番	638-1022型
型	式 名	MC-08
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅352×奥行130×高さ580/10
電 源		AC100V(50/60Hz)
消 費 電 力(無 負 荷 時)		6W
出 力 端 子		循環ポンプ用電磁開閉器用端子(AC100V 0.5A)
		外部ファン用電磁開閉器用端子(AC100V 0.5A)
		週間プログラムタイマー用出力(AC100V 0.5A)
		AC100V 外部出力(AC100V 0.5A)
		アラーム接点
入 力 端 子		風圧スイッチ※
		週間プログラムタイマー※
		通信コード用端子(4ヶ所)
熱 源 機 と の 接 続		電源端子(2ヶ所)
		リモコン接続端子(2ヶ所)
接 続 可 能 台 数		最大 10 台まで
安 全 装 置		漏電安全装置(漏電ブレーカー)

※現地調達品